

お知らせ：次回発信日は**10月15日**週報(予定)

Jミルクが**2026年10月2日**に公表した「需給見通し(※2026年7月迄実績)」の予測値と直近の実績値(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【8月の統計実績】

● 生乳生産量

東日本を中心に猛暑日数が少なく平均気温が例年を下回る中、全国の実績は前年同月比+0.4%(日均量、以下同)と、11カ月ぶりに前年水準を上回った。地域別では、北海道が+0.3%と2カ月連続で前年水準を上回り、都府県は+0.5%と12カ月ぶりに前年水準を上回った。指定団体受託乳量(速報)は、北海道(ホクレン)では7月下旬から9月下旬まで7旬連続で前年水準を上回った。都府県でも東日本を中心に乳量が増加し、9月中旬は+2.8%と4旬連続で前年水準を上回った。

● 牛乳等生産量

牛乳の生産量は、前年同月比▲1.2%と13カ月連続で前年水準を下回ったものの前月から減少率は縮小した。牛乳のうち、学乳および業務用を除く牛乳(=家庭用)は同▲0.9%と3カ月連続で前年水準を下回った。成分調整牛乳は75カ月連続、加工乳および乳飲料は13カ月連続で前年水準を下回っており、牛乳類全体としては13カ月連続で前年割れとなった。一方、発酵乳については、+6.2%と3カ月連続で前年水準を上回った。前年同月比が6%を上回るのは2025年3月以来となる。以上の結果、生乳の飲用等向処理量は、前年同月比▲1.2%と13カ月連続で前年水準を下回った。生乳供給量が前年水準を上回った一方、飲用等向処理量が減少したため、乳製品向け処理量は+2.2%と2か月連続で前年水準を上回った。

● 乳製品需給

脱脂粉乳は、生産量が12.8千ト(+2.8%)、推定出回り量は10.8千ト(+2.1%)と需要量が供給量を下回った結果、在庫量は前月から約2.1千ト増加した。月末在庫量は81.9千ト(+125.0%)と21カ月連続で前年水準を上回っている。在庫量が70千トを上回るのは4か月連続で、80千トを上回るのは2023年1月以来、43カ月ぶりとなる。一方、バターは生産量が6.3千ト(+9.2%)、推定出回り量が6.1千ト(▲3.8%)、輸入売渡数量が0.4千トとなり、需要量が供給量を下回った結果、在庫量は約0.6千ト増加して39.5千ト(+21.3%)となり、在庫量は24カ月連続で前年水準を上回った。

【9月および9/28週の販売動向データ】

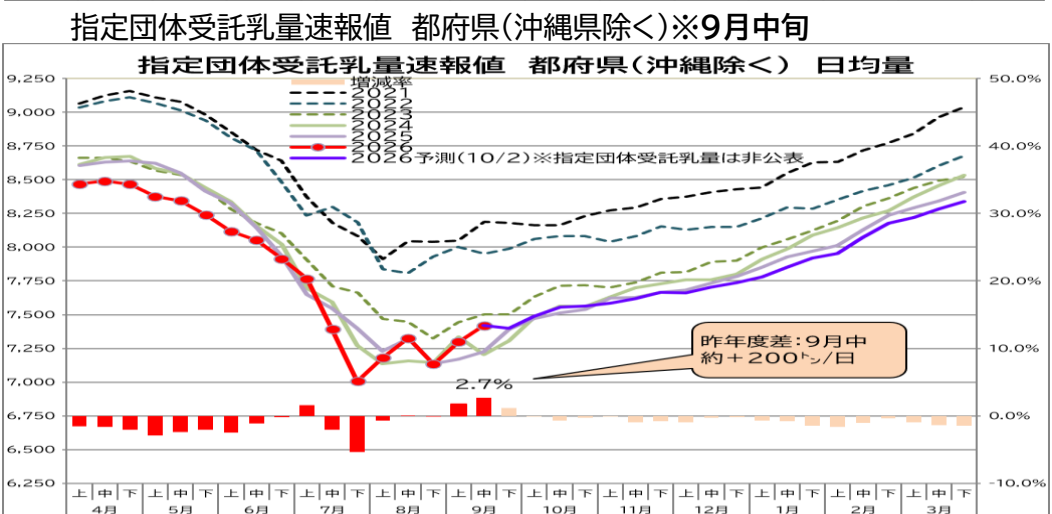
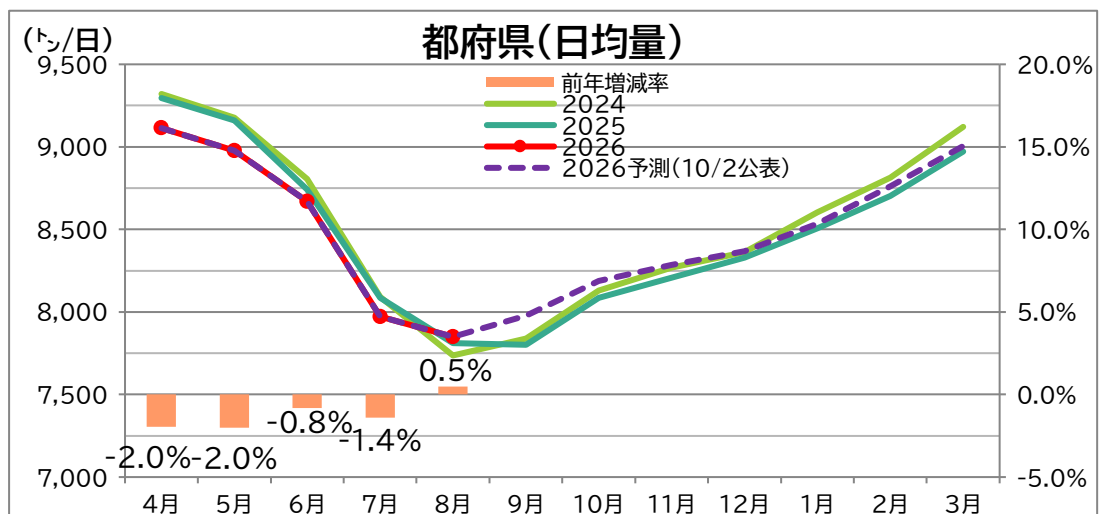
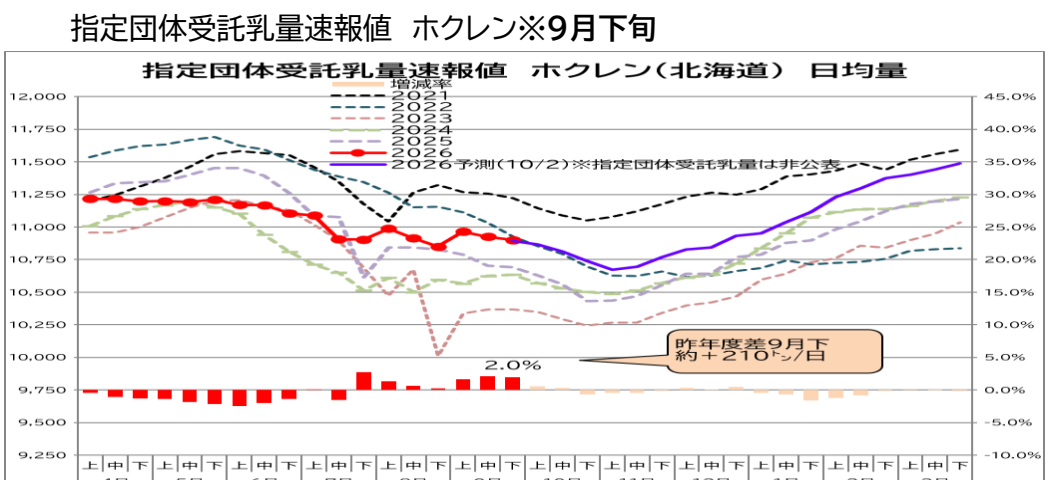
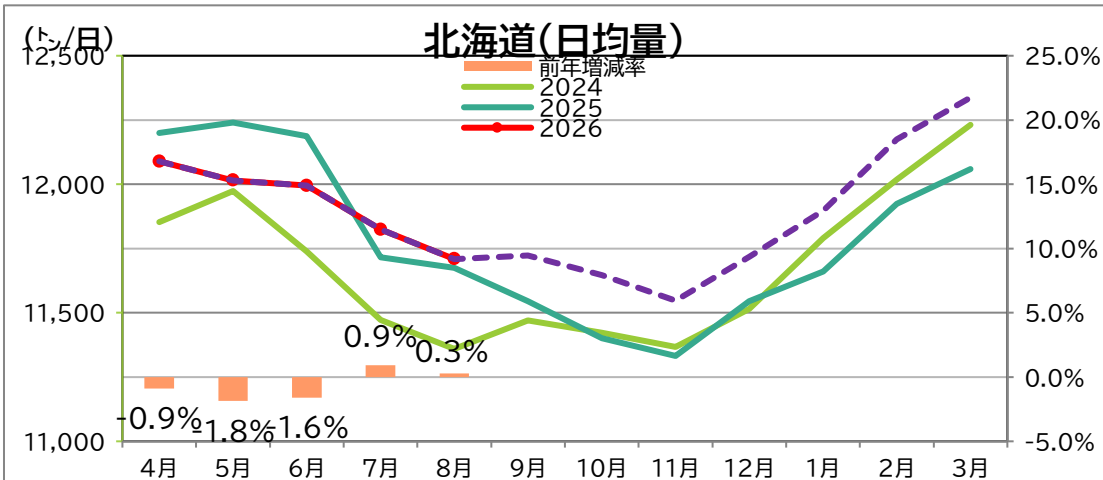
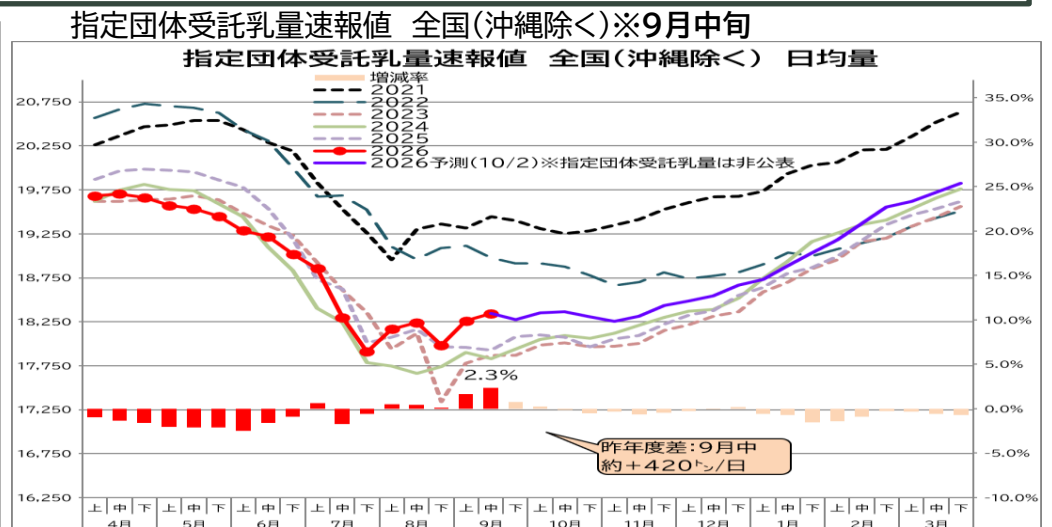
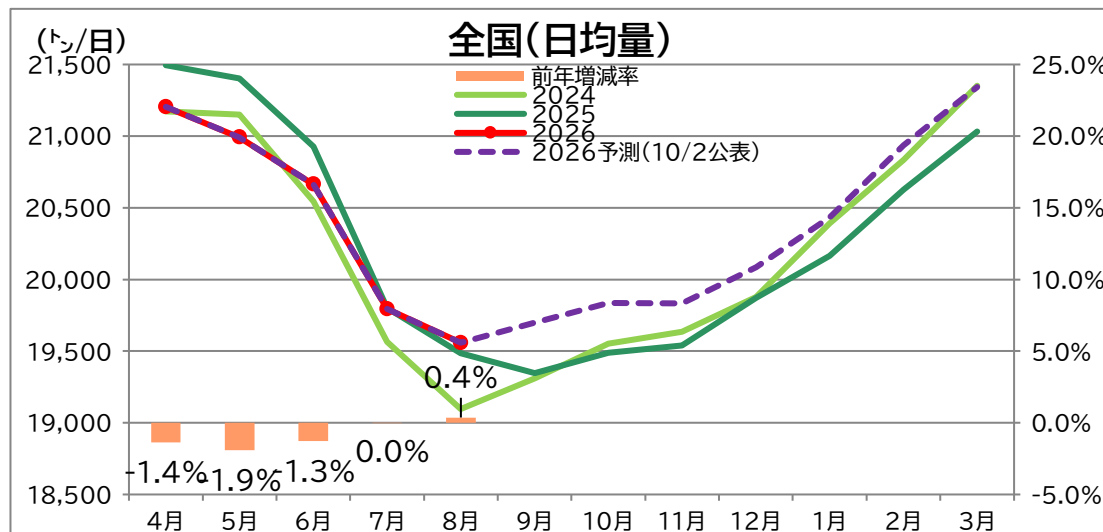
- 9月の牛乳類トータルの販売個数は、4カ月連続で前年水準を下回った。内訳を見ると、牛乳単体では2カ月ぶりに前年水準を下回った。直近週(9/28週)では、牛乳類トータルの販売個数が10週連続で前年水準を下回り、前週から減少幅が拡大した。牛乳の販売個数を地域別に見ると、北陸と九州がいずれも2週連続で前年水準を上回った。
- 発酵乳の9/28週の合計販売数量は、ドリンクタイプが2週連続、個食タイプが3週連続で前年水準を下回った一方、大容量タイプが41週連続で前年水準を上回った。この結果、3品目の合計販売個数は2週連続で前年水準を下回ったものの、合計販売容量は16週連続で前年水準を上回った。
- 家庭用バターの販売個数は、前週から増加率が縮小したものの15週連続で前年水準を上回っている。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳生産量は、全国606.3千ト(前年同月比100.4%)、北海道363.0千ト(同100.3%)、都府県243.3千ト(同100.5%)。

(2)7月31日に公表したJミルク予測値(全国594.4千ト、北海道358.5千ト、都府県236.0千ト)との比較は北海道・都府県ともに大きく上振れした。

(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が9月中旬(最新、以下同)で同102.3%、都府県(沖縄除く)が同102.7%、北海道は9月下旬が同102.0%となった。

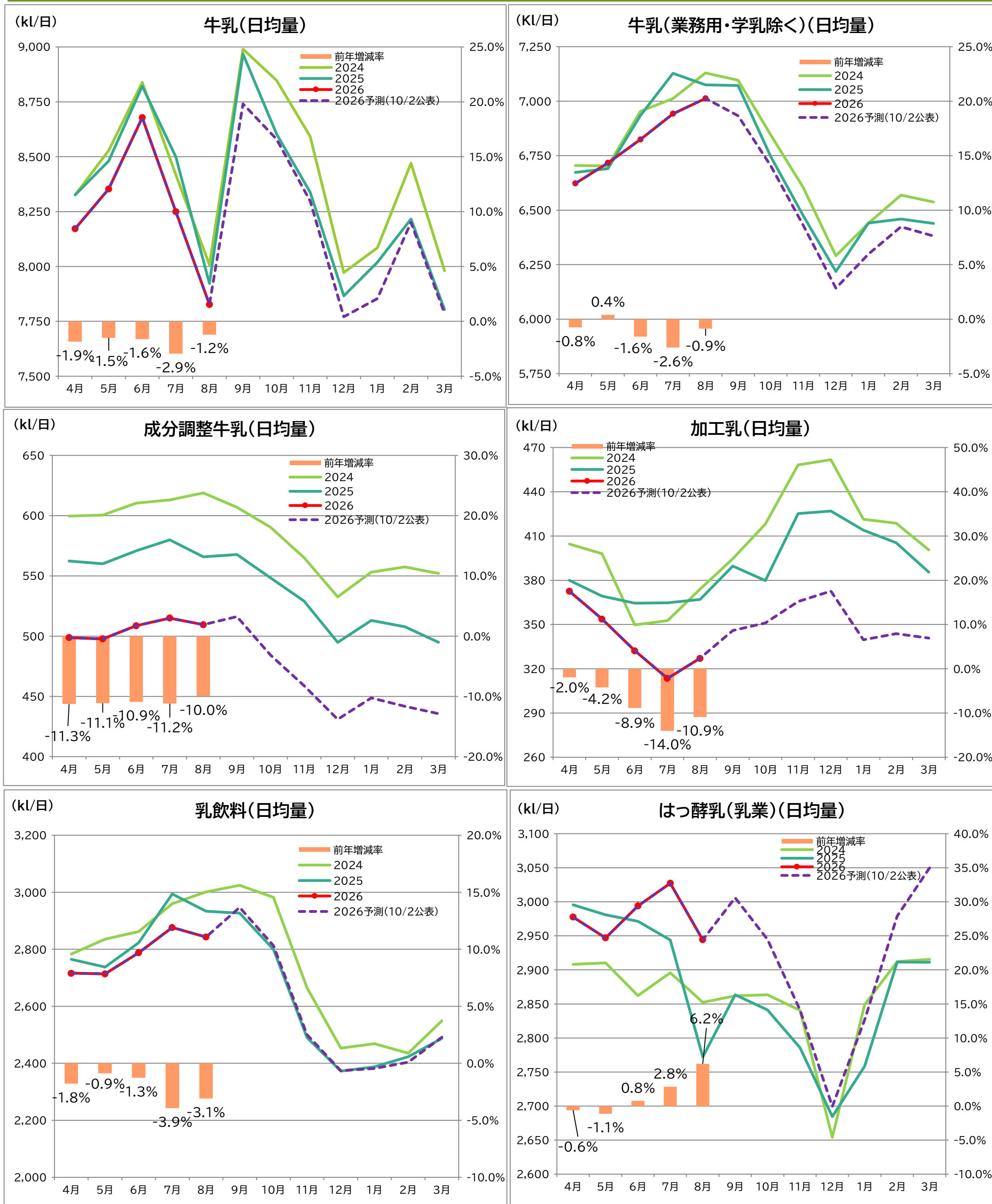


【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の牛乳等生産量は、牛乳242.6千kl(前年同月比98.8%)、成分調整牛乳15.8千kl(同90.0%)、加工乳10.1千kl(同89.1%)、乳飲料88.1千kl(同96.9%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では356.7千kl(同97.6%)となり、13カ月連続で前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.1%、「業務用」は同94.4%、「学乳」は102.4%。

(3)はっ酵乳(乳業)は91.3千kl(同106.2%)、はっ酵乳(非乳業:7月実績)は99.5%となった。



【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳供給量は602.9千㍓(前年同月比100.4%)、飲用等312.6千㍓(同98.8%)、乳製品向(認定ベース)290.2千㍓(同102.2%)。

(2)飲用等向が13か月連続で前年を下回り、生乳供給量が前年超えで推移した結果、乳製品向は2か月連続で前年を上回った。

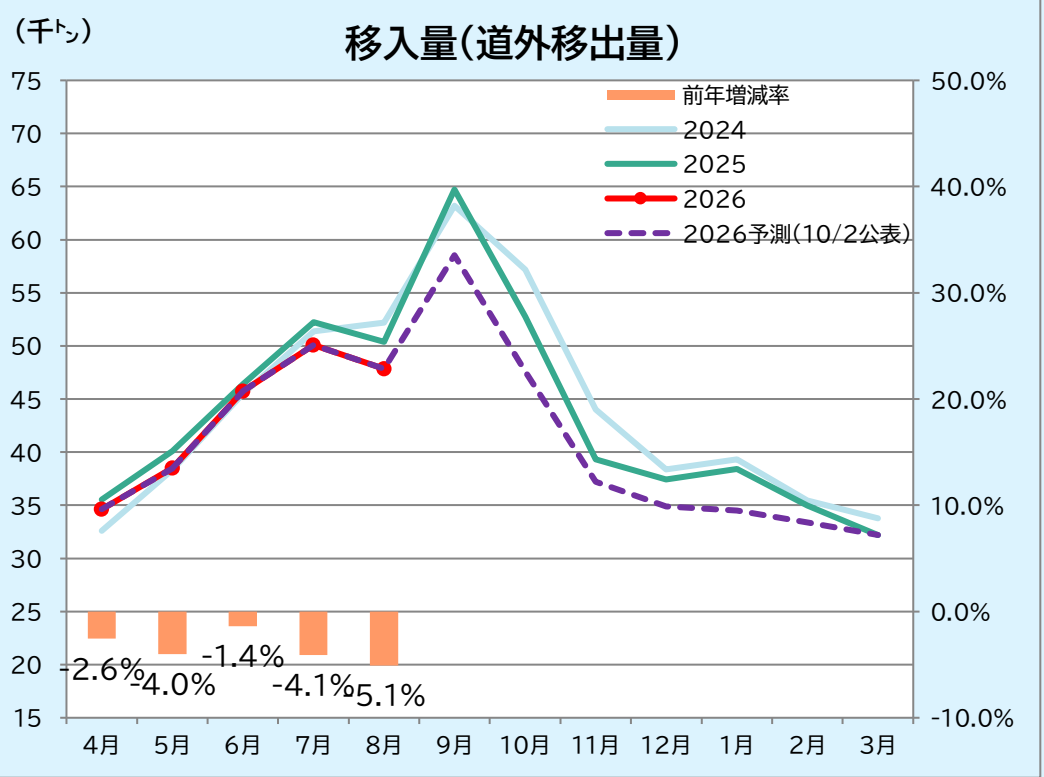
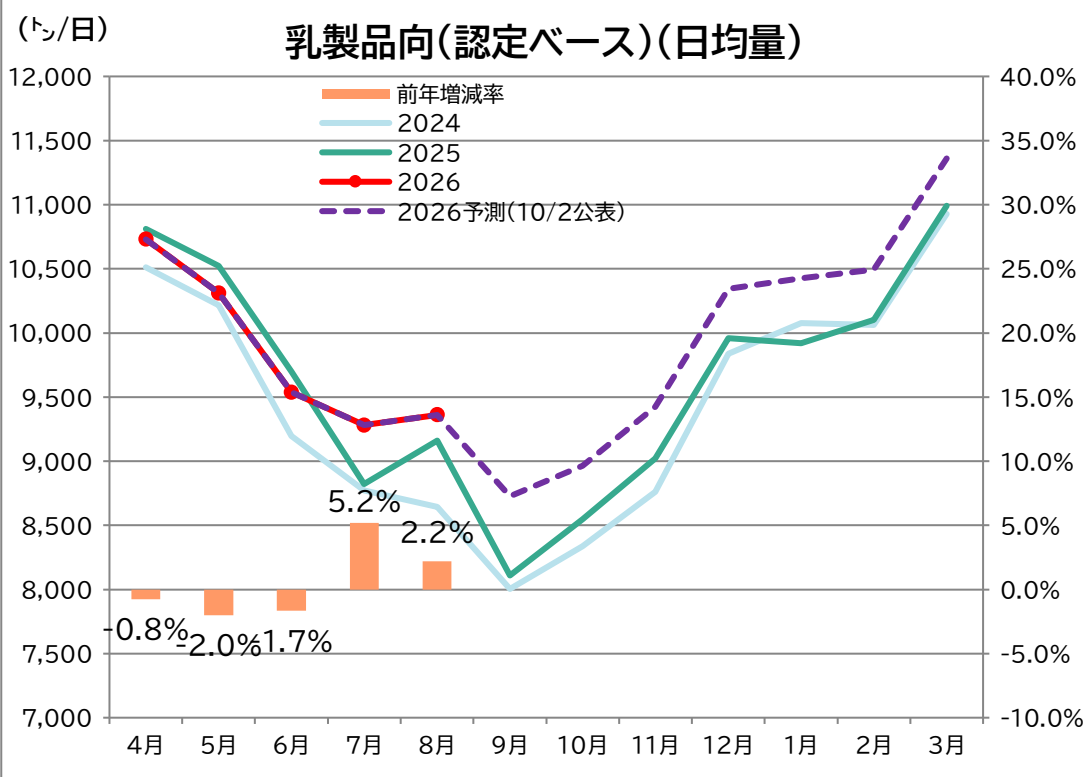
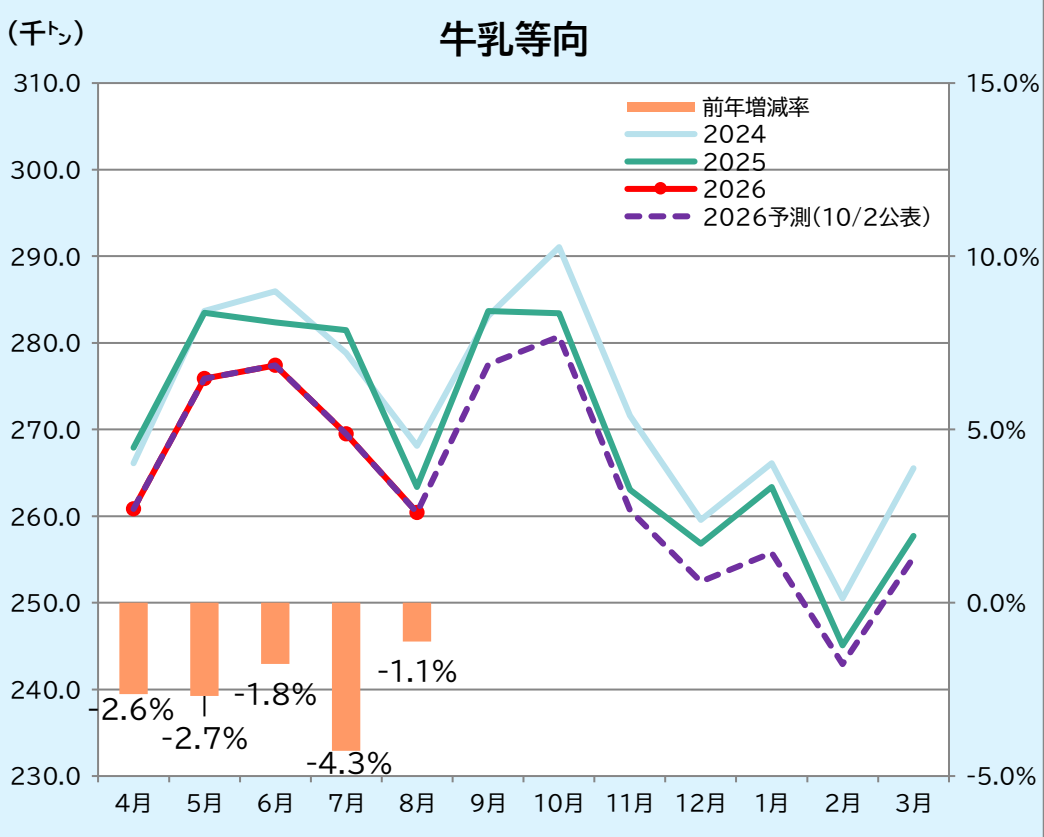
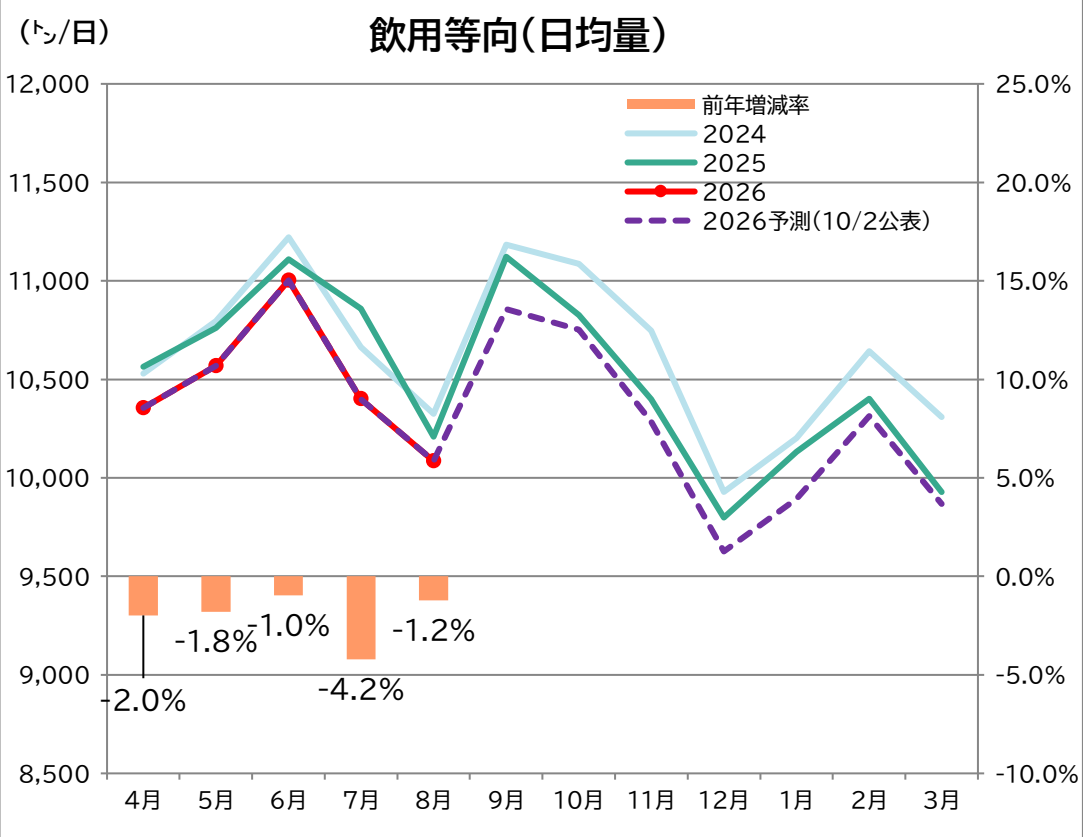
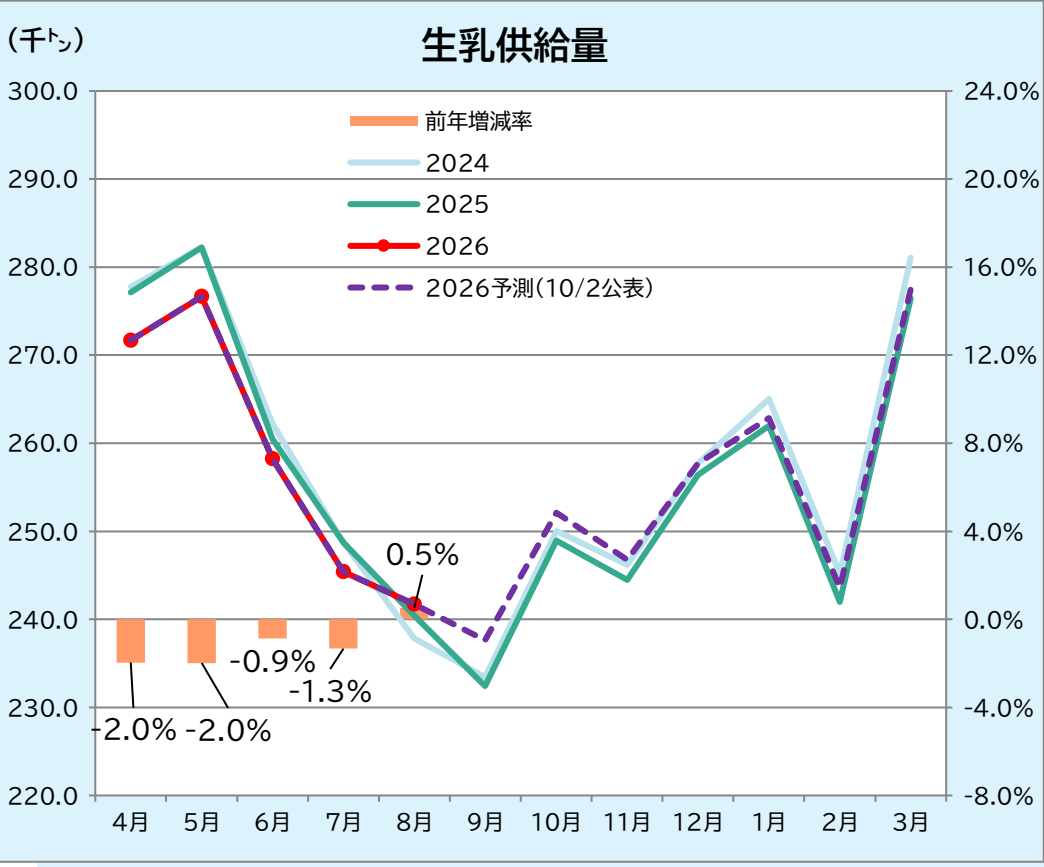
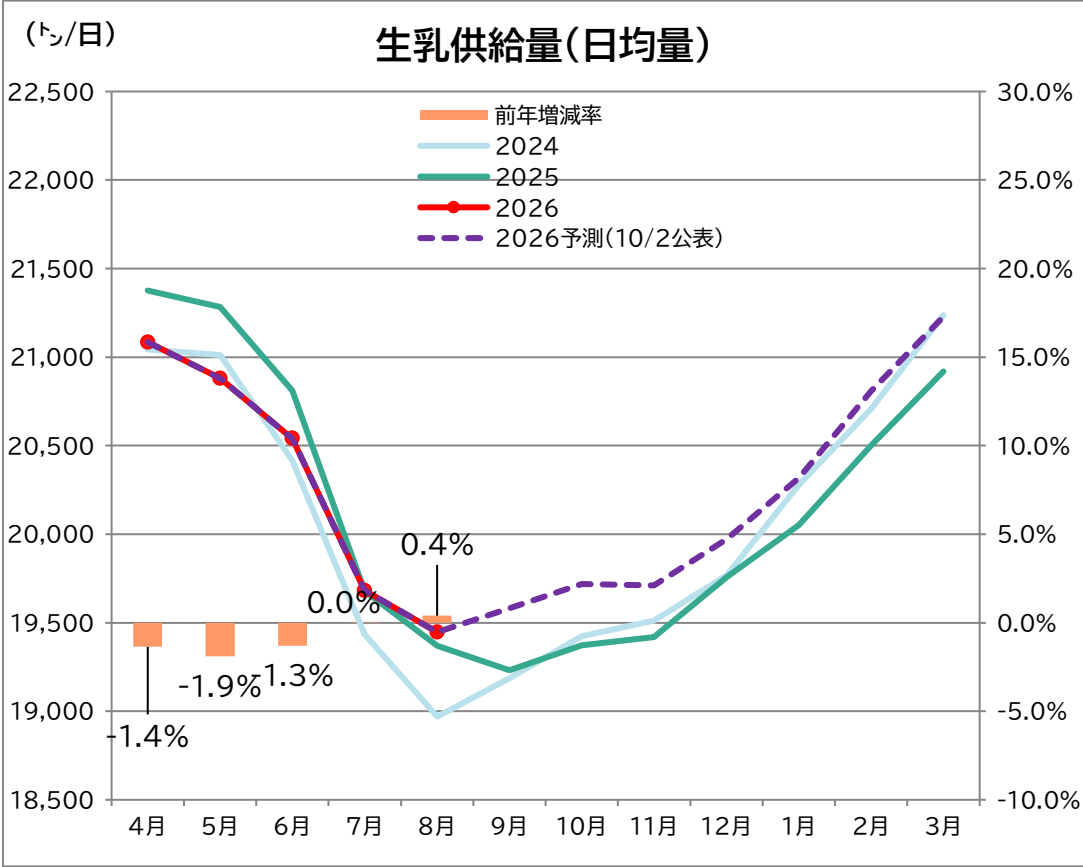
(3)7月31日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:590.9千㍓)は大きく上振れ、飲用等向(予測値:314.6千㍓)は下振れ、乳製品向(予測値:276.3千㍓)は大きく上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)8月は、生乳供給量241.7千㍓(前年同月比100.5%)、牛乳等向260.4千㍓(同98.9%)。

(2)北海道からの移入量については47.8千㍓(同94.9%)と11カ月連続で前年を下回った。

(3)7月31日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:234.3千㍓)は大きく上振れ、牛乳等向(予測値:265.7千㍓)は下振れ、移入量(予測値:53.1千㍓)は下振れとなった。



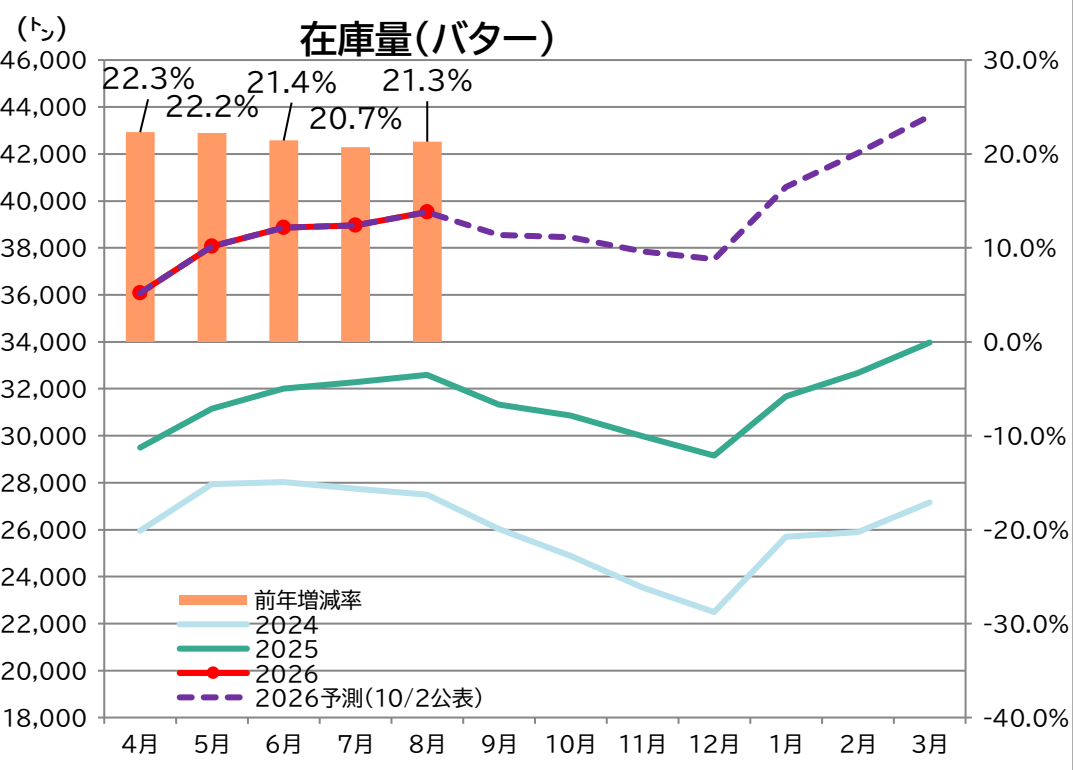
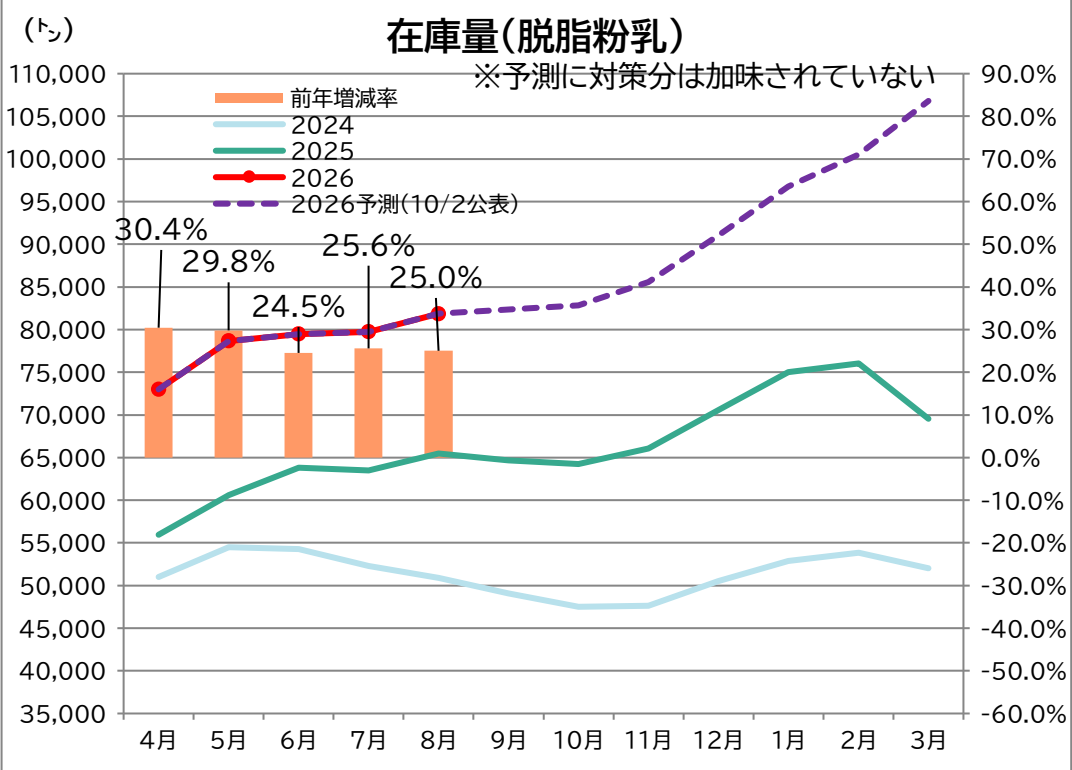
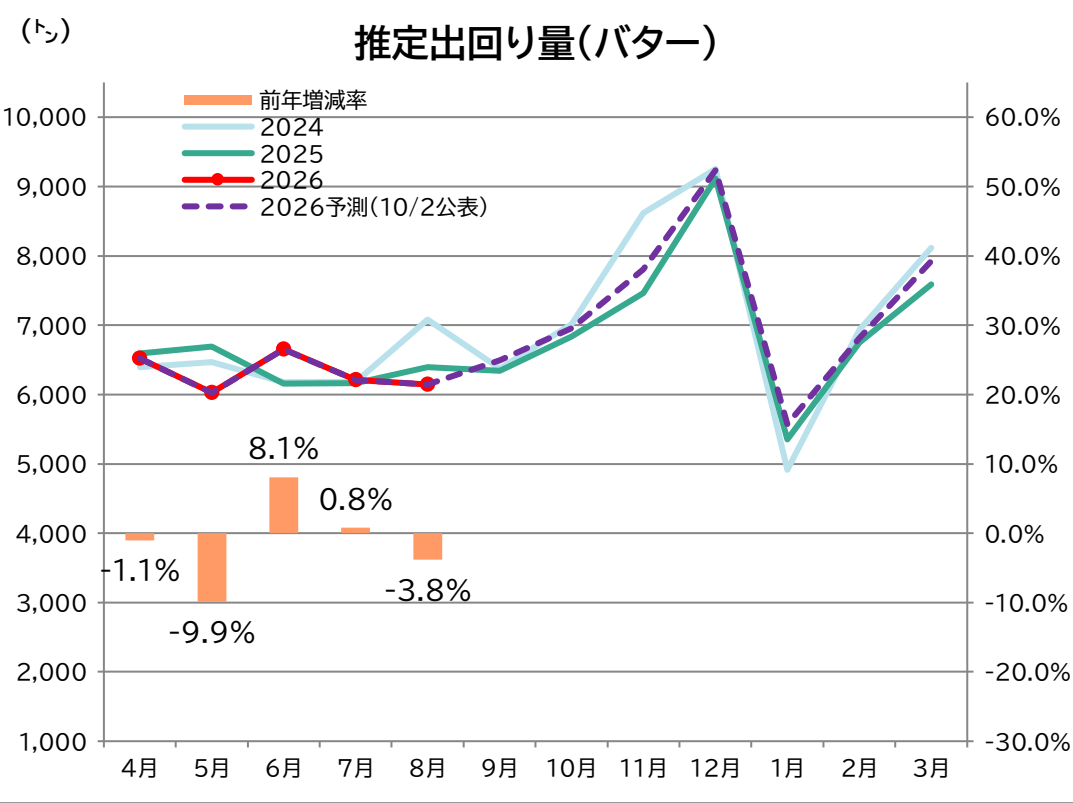
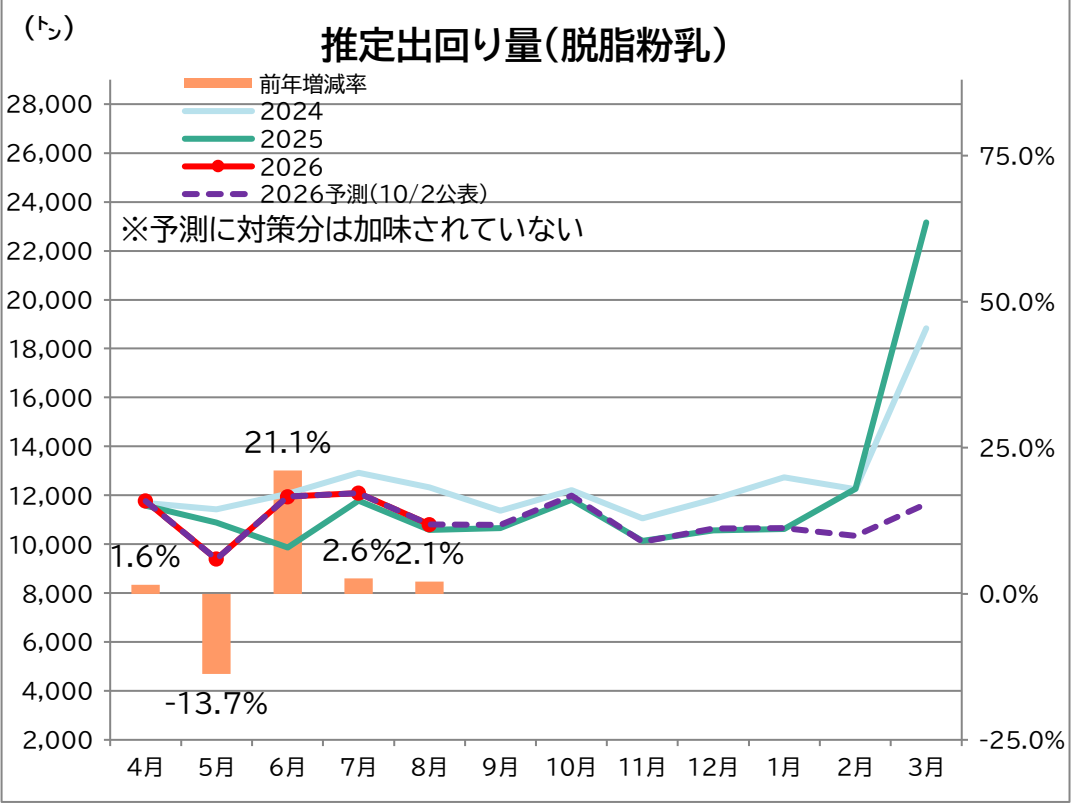
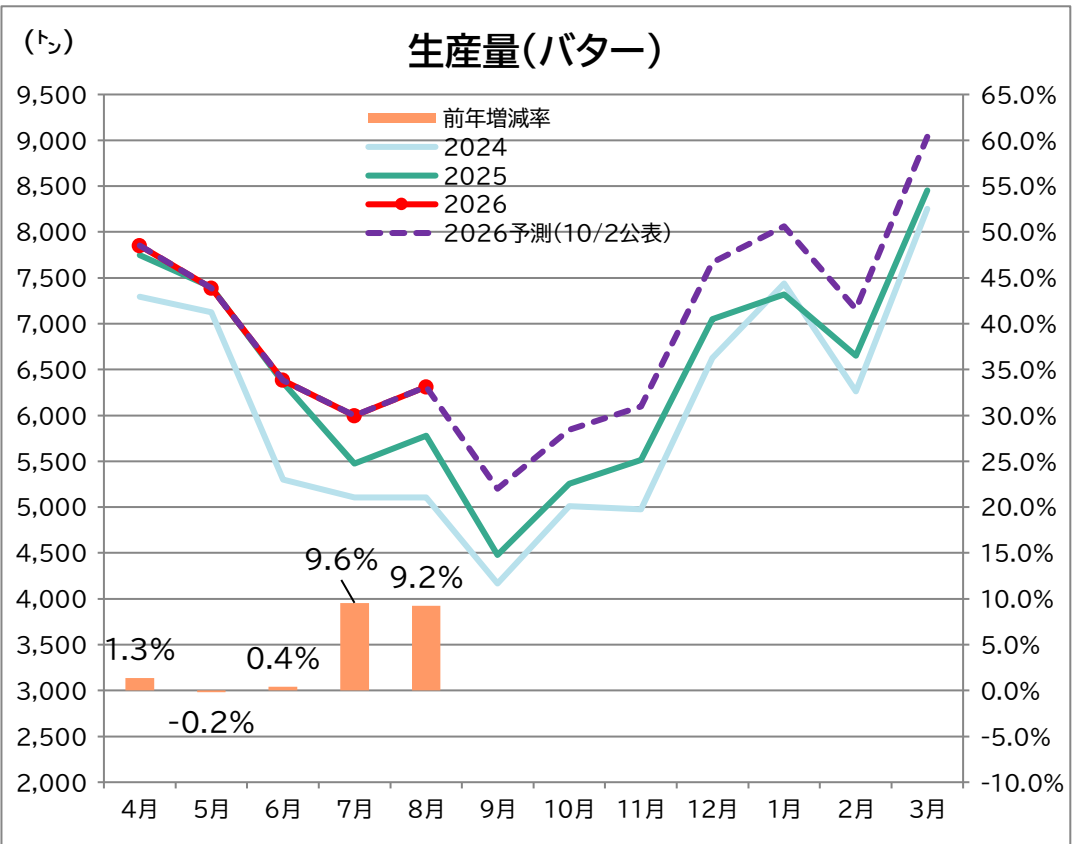
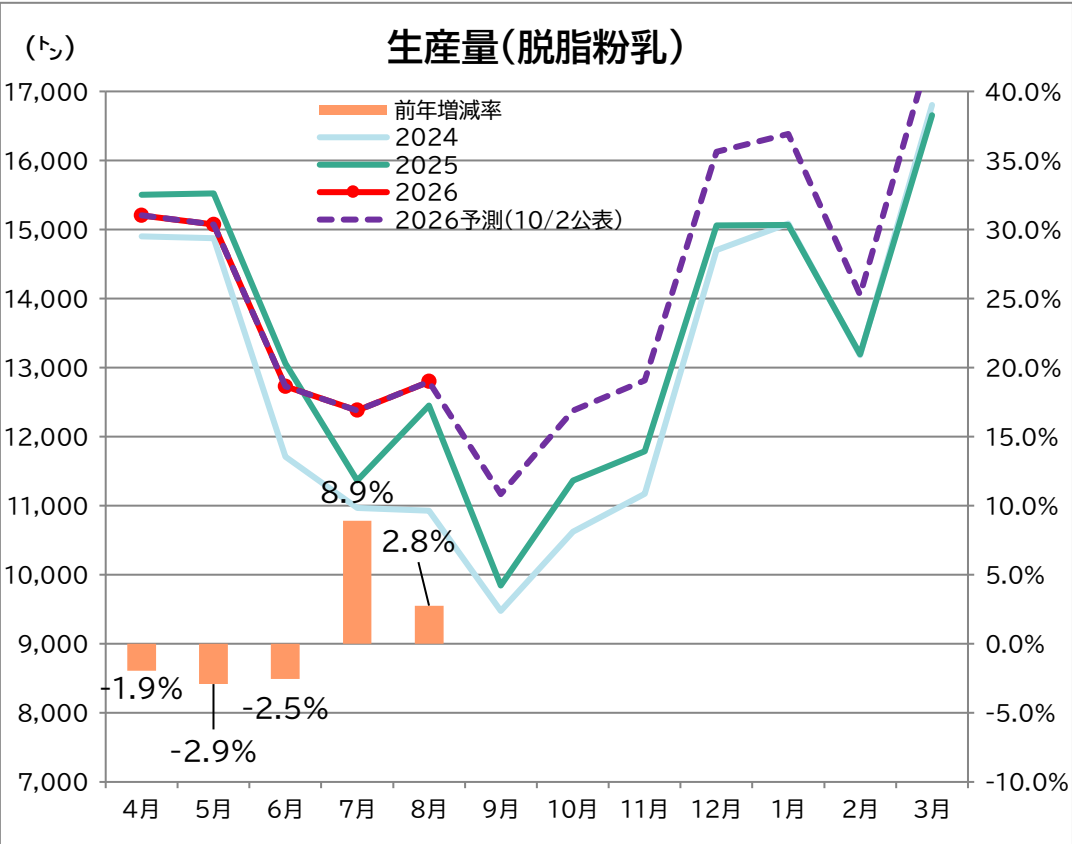
【脱脂粉乳・バター需給】

(1)脱脂粉乳について8月の生産量は12.8千ト(前年同月102.8%)、推定出回り量は10.8千ト(同102.1%)となった。出回り量が生産量を下回り在庫量は前月から2.1千ト程度増加し、81.9千ト(同125.0%)となった。在庫量は2024年12月、約2年3カ月ぶりに前年水準を上回りそれ以降、19カ月連続で前年超えで推移している。8万ト台となるのは2023年1月以来、43カ月ぶり。

※なお、推定出回り量の実績について、需給変動対策による在庫低減対策を差し引いた数量は96.4%。

(2)バターについて、8月の生産量は6.3千ト(同109.2%)、推定出回り量は6.1千ト(同96.2%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約0.4千ト)も考慮すると在庫量は前月から約0.6千ト増加し39.5千ト(同121.3%)となった。在庫量は24カ月連続で前年超え。

➡脱脂粉乳の在庫の積み増しを避けるべく、全国の酪農乳業関係者が一丸となり入口(生産)・出口(需要)対策を進める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)9月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比98.8%、成分調整牛乳:同88.3%、加工乳:同88.3%、乳飲料:同90.7%。牛乳類全体:同96.8%

【参考】2024年9月比…牛乳:96.9%、成分調整牛乳:80.9%、加工乳:76.2%、乳飲料:88.1%(牛乳類トータル:94.2%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(9/28週)の販売個数は、牛乳:前年同期比98.8%、成分調整牛乳:同89.7%、加工乳:同86.9%、乳飲料:同91.2%。牛乳類トータルでは同96.9%

出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

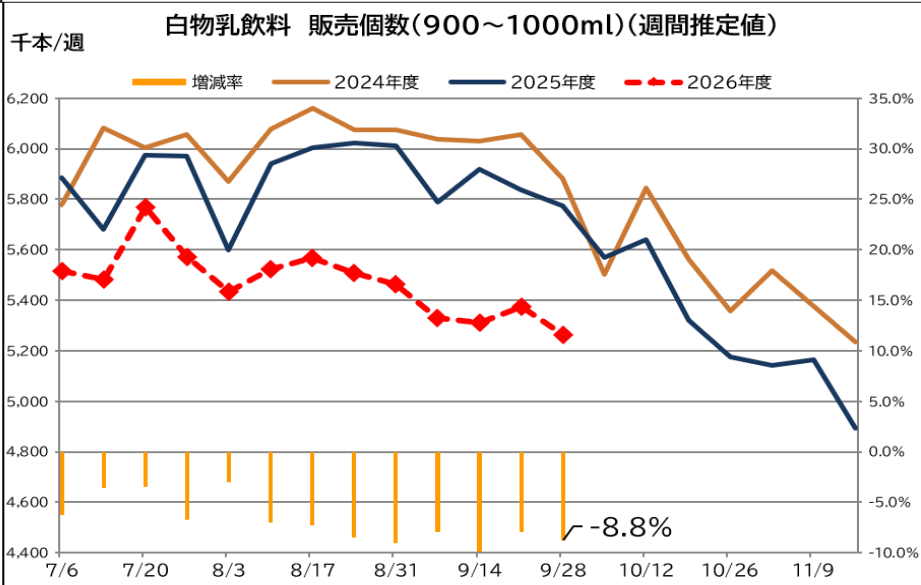
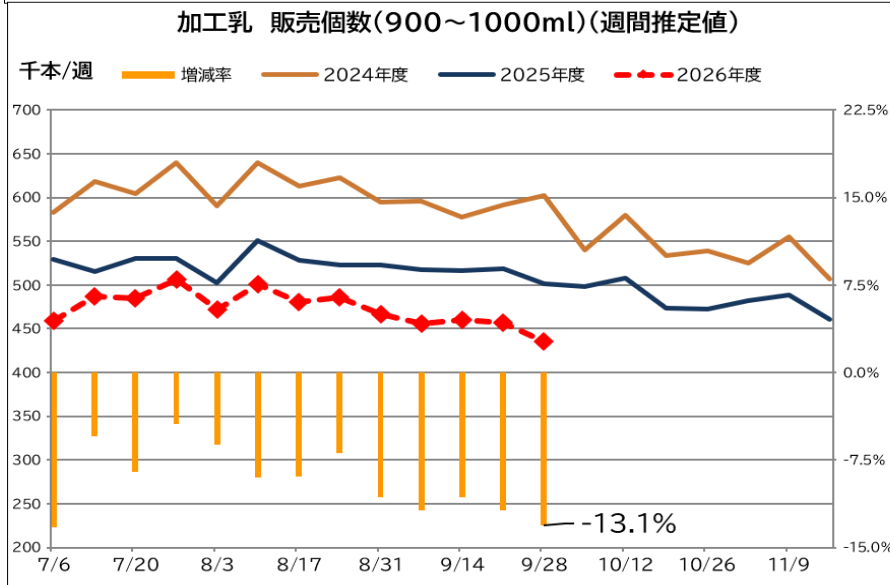
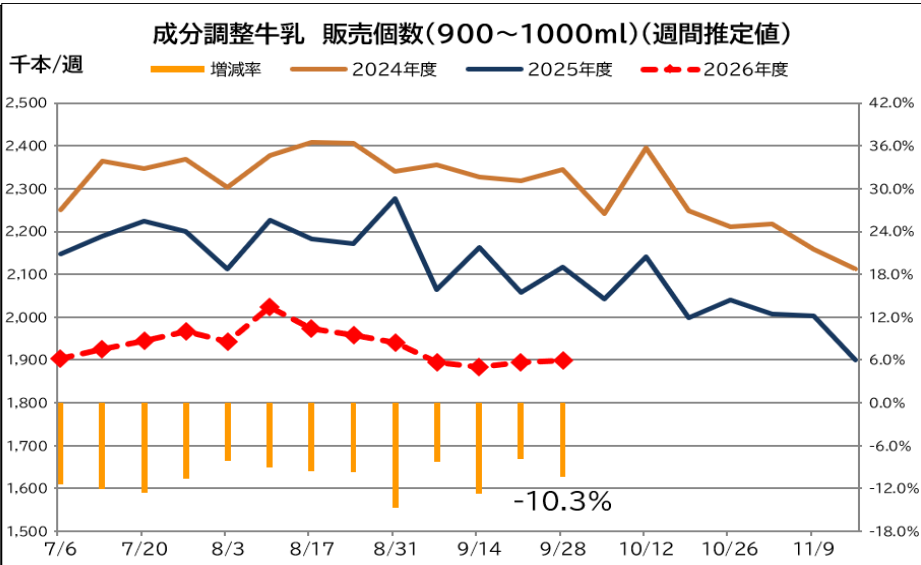
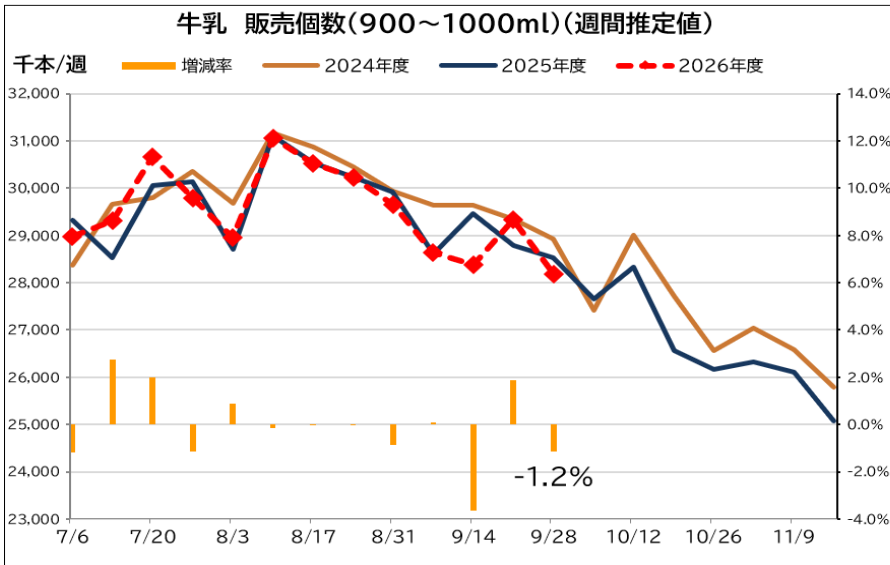
単位:千個、円

品目	区分	2026/4-	2026/5-	2026/6-	2026/7-	2026/8-	2026/9-	2026/9- 2022/10価格差	2026/9- 2023/3価格差	2026/9- 2023/7価格差	2026/9- 2025/7価格差
トータル	販売個数	144,517	156,278	153,724	164,178	170,403	156,358	41.9	26.8	25.0	8.7
	販売個数前年比	98.8	102.0	97.7	98.1	98.8	96.8				
	販売単価	225.3	225.2	225.0	225.3	225.8	225.0				
牛乳	販売個数	113,587	123,082	121,120	129,328	134,804	123,391	43.3	27.0	26.2	8.4
	販売個数前年比	100.6	104.1	99.4	99.9	100.4	98.8				
	販売単価	233.8	233.7	233.6	233.9	234.3	233.5				
成分調整牛乳	販売個数	7,576	7,992	7,860	8,424	8,814	8,114	44.1	28.5	24.9	11.2
	販売個数前年比	84.7	86.9	85.6	87.1	91.0	88.3				
	販売単価	217.5	217.8	217.5	218.0	218.4	217.3				
加工乳	販売個数	1,867	1,993	1,936	2,088	2,190	1,961	43.8	34.1	23.9	12.4
	販売個数前年比	90.1	91.5	88.9	90.0	93.7	88.3				
	販売単価	236.5	236.5	237.9	237.1	236.7	235.7				
乳飲料	販売個数	21,486	23,210	22,809	24,338	24,596	22,892	31.2	20.6	16.9	7.1
	販売個数前年比	96.3	98.5	94.6	94.1	93.9	90.7				
	販売単価	182.0	181.3	181.2	180.8	180.9	180.7				

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	26.9.28- 22.10.24 価格差	26.9.28- 23.3.20 価格差	26.9.28- 23.7.24 価格差	26.9.28- 25.7.21 価格差
トータル	販売個数	39,103	38,548	38,186	37,532	36,323	36,042	37,059	35,772	41.4	26.5	24.1	8.1
	販売個数前年比	98.2	98.2	98.0	96.9	98.2	94.7	99.6	96.9				
	販売単価	227.1	225.4	225.1	225.0	224.9	225.1	224.9	224.6				
牛乳	販売個数	31,055	30,525	30,231	29,660	28,642	28,387	29,331	28,176	42.8	26.5	25.3	7.8
	販売個数前年比	99.8	100.0	100.0	99.1	100.1	96.4	101.9	98.8				
	販売単価	235.5	233.8	233.7	233.5	233.5	233.7	233.3	233.1				
成分調整牛乳	販売個数	2,023	1,973	1,958	1,940	1,894	1,884	1,895	1,898	42.4	27.6	22.7	9.5
	販売個数前年比	90.9	90.4	90.2	85.2	91.7	87.2	92.1	89.7				
	販売単価	219.6	218.5	218.2	217.5	217.2	217.3	217.6	215.7				
加工乳	販売個数	501	481	486	467	456	460	457	435	42.7	33.3	23.4	11.1
	販売個数前年比	91.0	91.1	93.1	89.3	88.2	89.3	88.2	86.9				
	販売単価	238.1	237.0	235.9	237.5	234.7	236.1	235.9	236.9				
乳飲料	販売個数	5,524	5,568	5,510	5,465	5,331	5,311	5,375	5,262	30.5	20.6	15.7	6.0
	販売個数前年比	93.0	92.8	91.5	90.9	92.1	89.7	92.1	91.2				
	販売単価	181.4	180.6	179.9	180.8	180.3	180.7	180.8	181.0				

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(9/28週)の販売個数はドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ (350～500ml):同100%以上。はっ酵乳全体としては、前年を上回った。(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上、合計販売容量は同100%以上)。

(2)販売個数について、前週(9/21週)との比較では、3品目いずれも増加した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

品目	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9/7-	9/14-	9/21-	9/28-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘
大容量タイプ	↗	↗	→	→	↗	→	→	→

↘

: 前年比90%未満

↗

: 前年比105%以上110%未満

↘

: 前年比90%以上100%未満

↗

: 前年比110%以上120%未満

→

: 前年比100%以上105%未満

↗

: 前年比120%以上

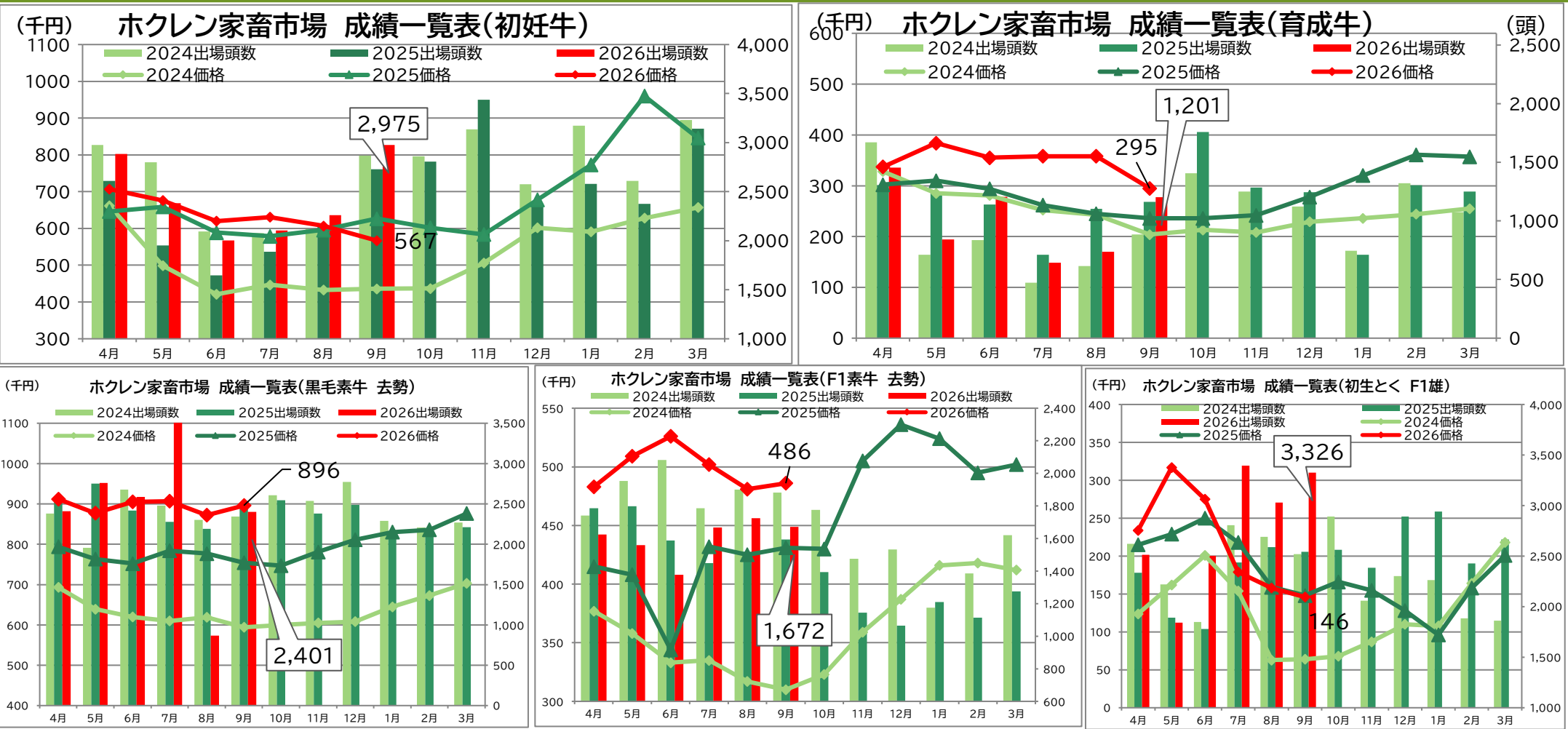
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)9月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は567千円(前年同期比90.4%)、育成牛価格は295千円(同125.0%)、和牛素牛(去勢)価格896千円(同118.8%)、F1素牛(去勢)価格は486千円(同112.8%)。初妊牛は13カ月ぶりに50万円台に下落し、育成牛は9カ月ぶりに20万円台に下落した。ホル初生(雄)価格は71千円(同197.7%)と3か月連続で100千円を下回ったものの、2倍近い水準となった(グラフ無し)。

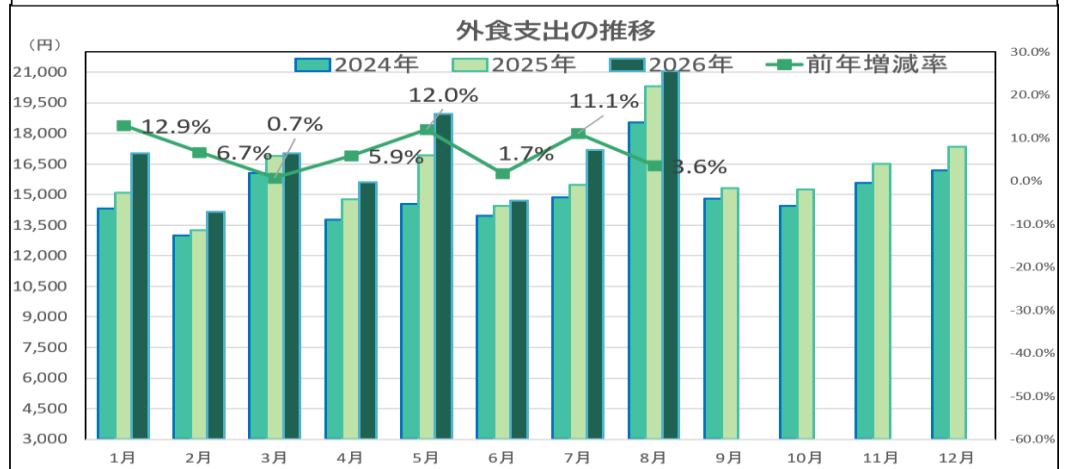
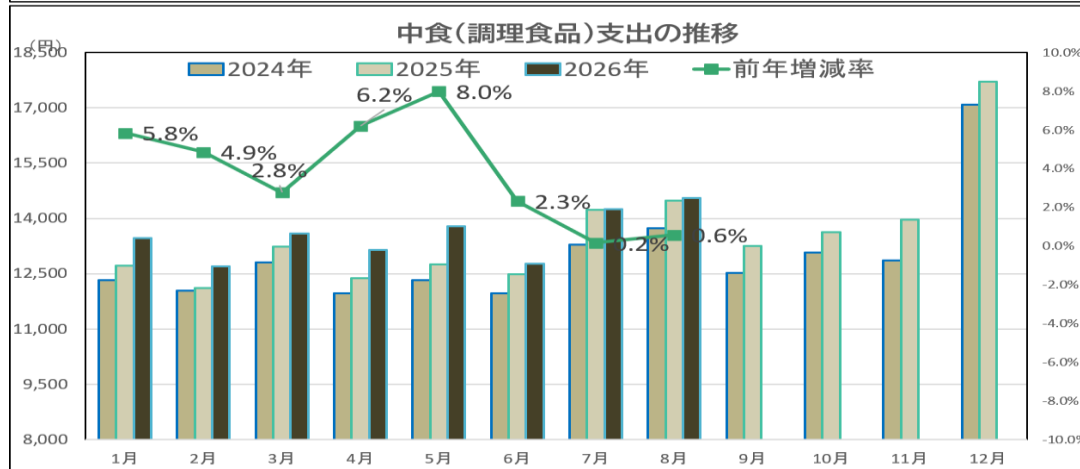
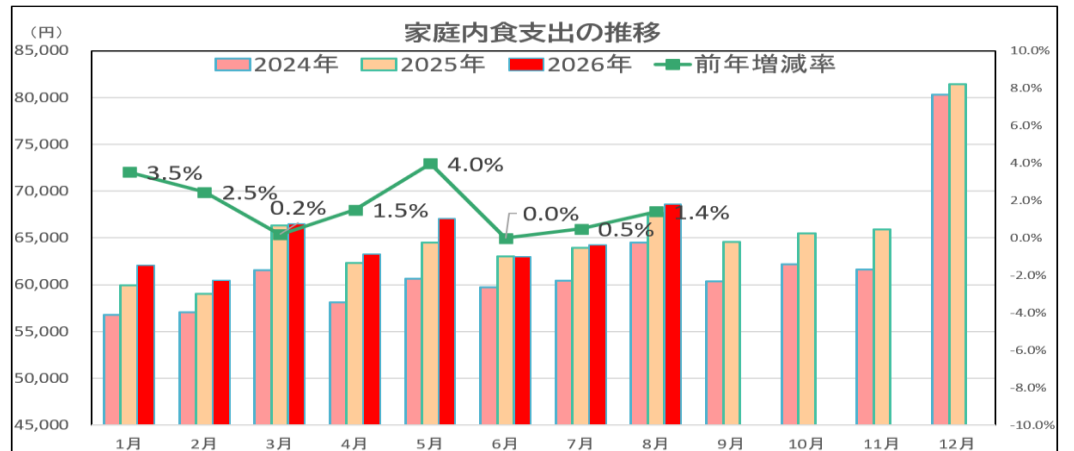
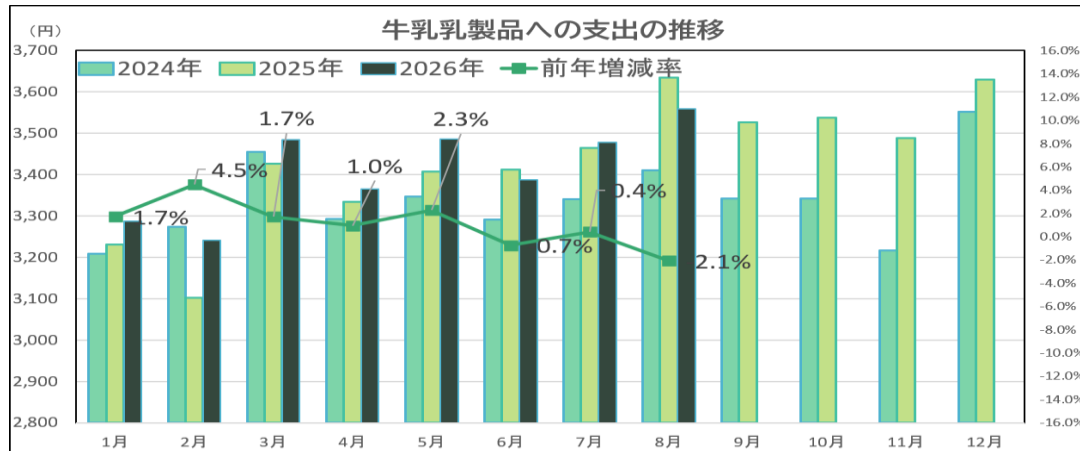
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同109.1%、育成牛:同103.4%、F1初生(雄):同130.8%、和牛素牛(去勢):同97.5%、F1素牛(去勢):同105.0%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

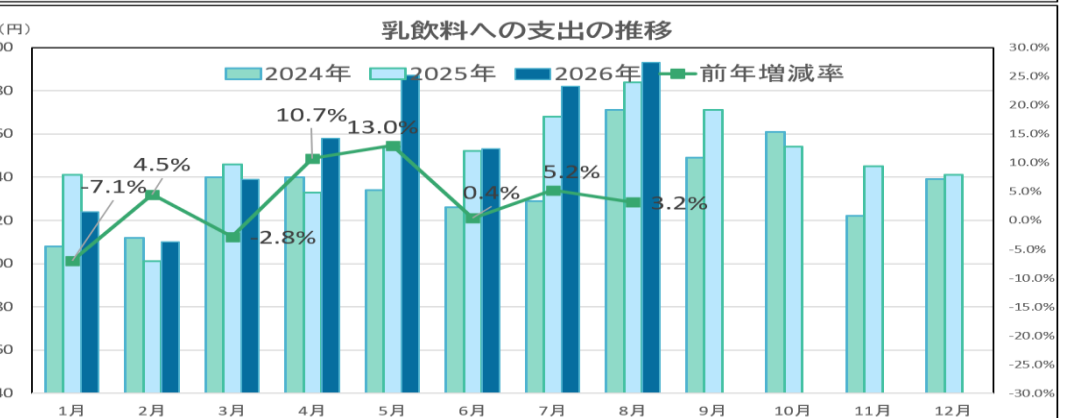
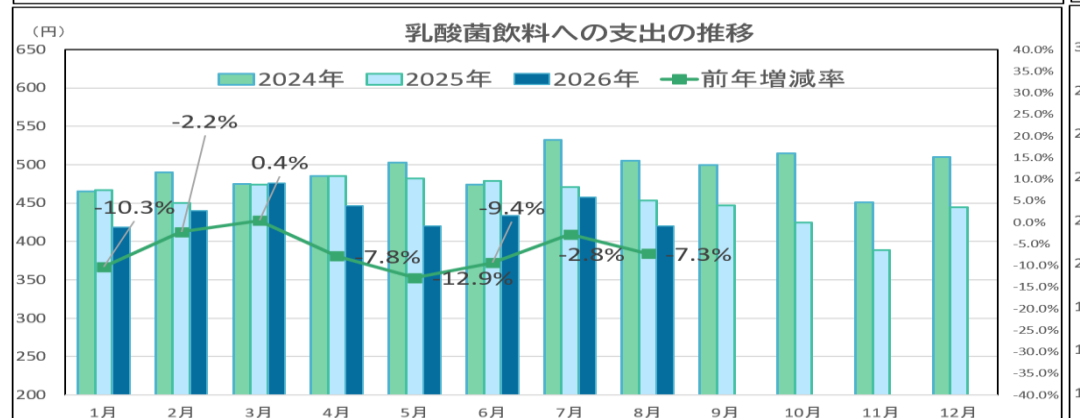
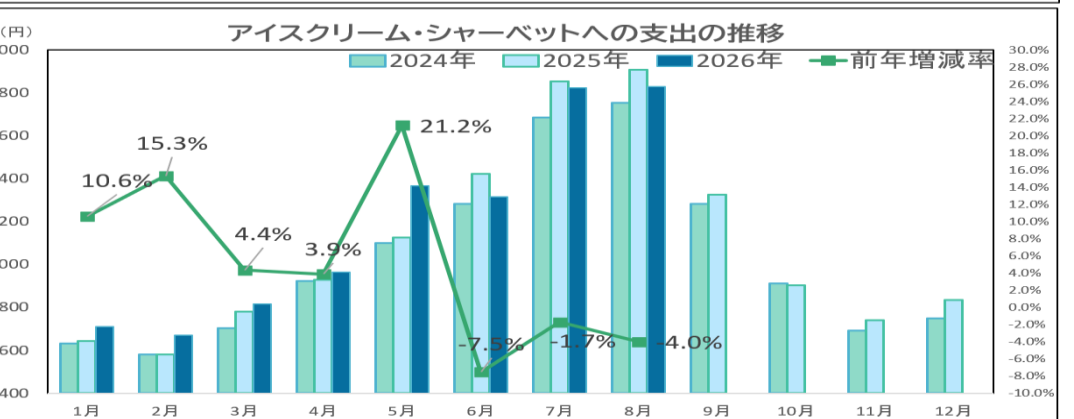
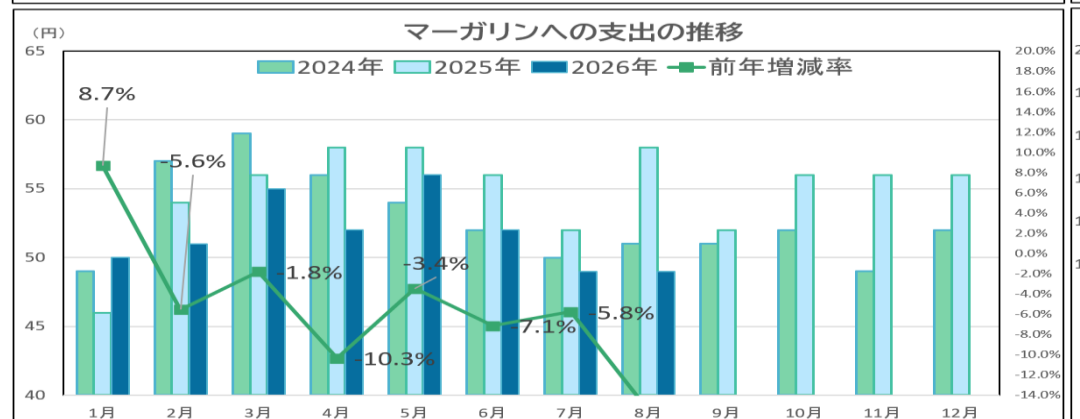
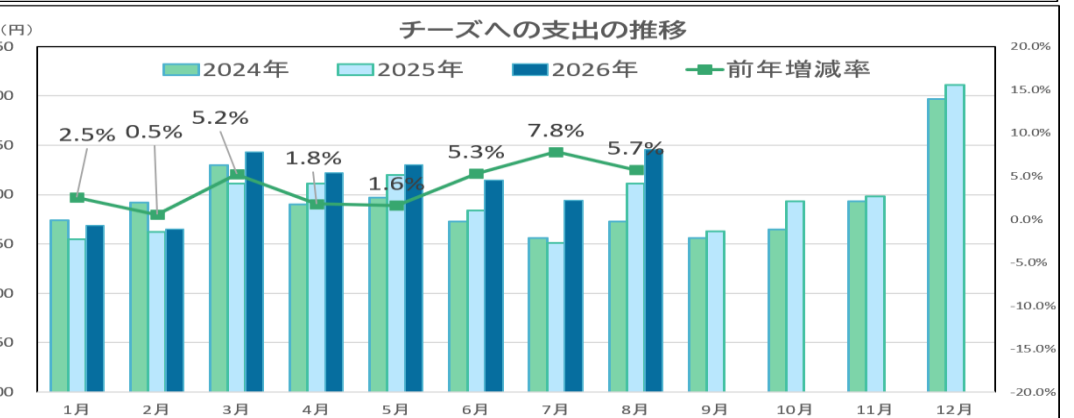
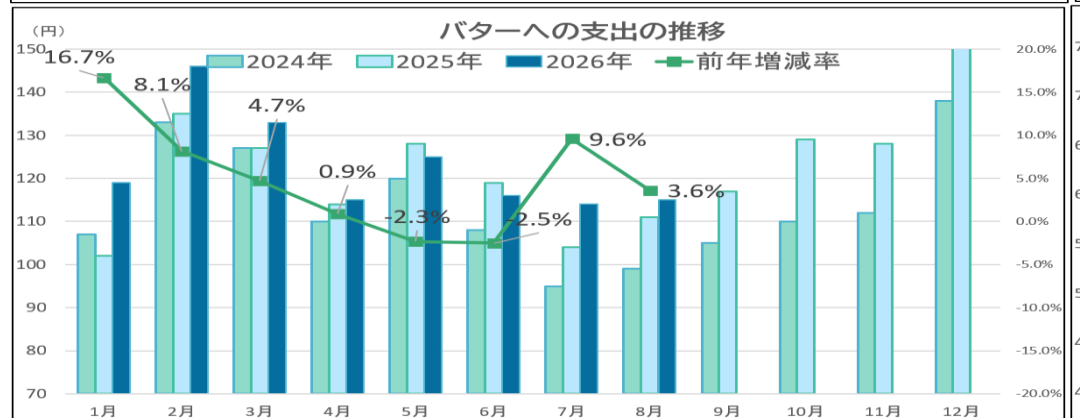
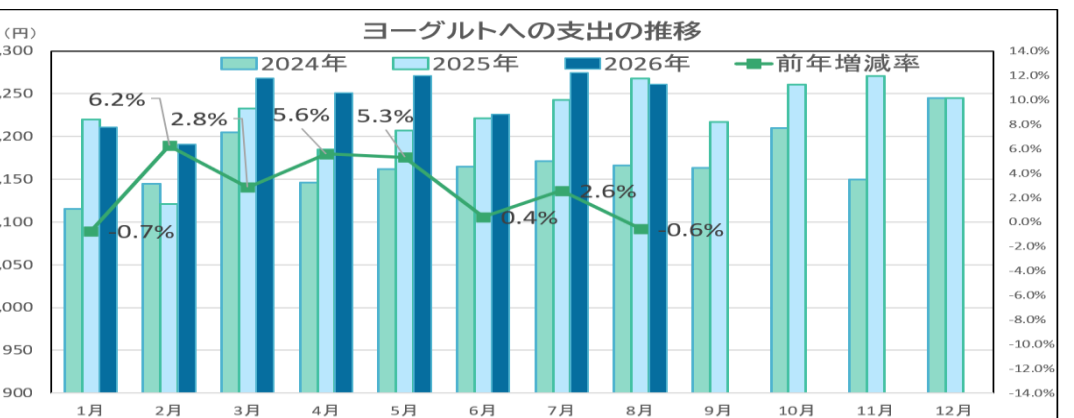
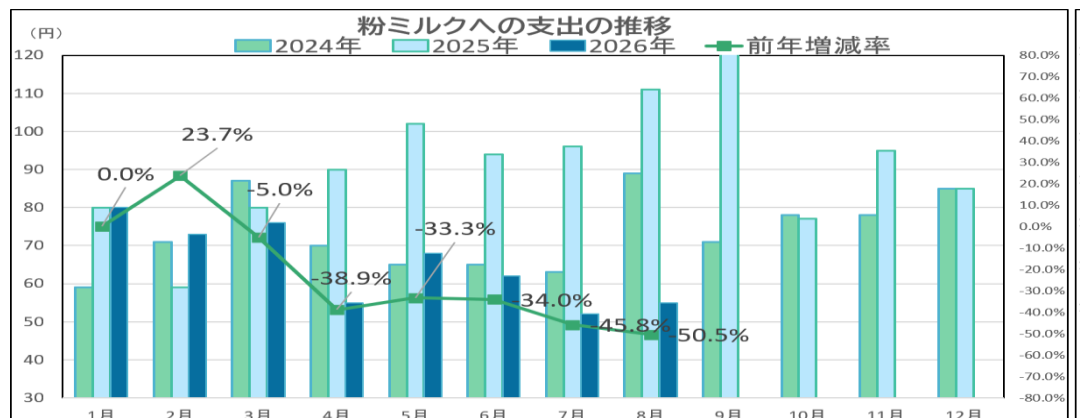


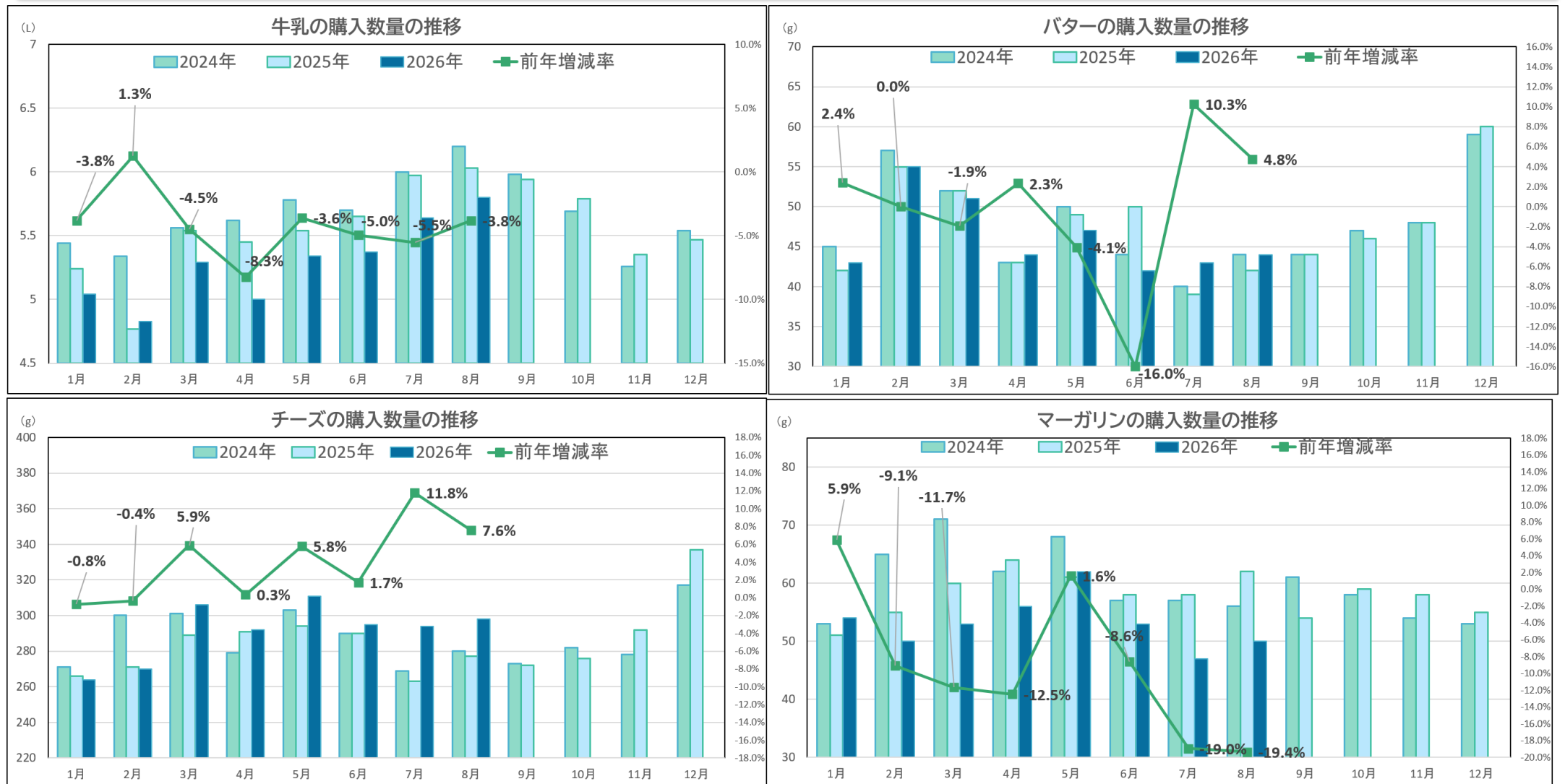
【家計支出の動向】

- (1)8月の支出額前年比について、外食103.6%、中食100.6%、内食101.4%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は101.7%となった。
- (2)牛乳乳製品の支出額は前年比97.9%(うち牛乳96.1%、乳製品99.2%)と2カ月ぶりに前年を下回り、牛乳は3か月連続で前年割れとなった。
- (3)なお、購入量は、牛乳96.2%(1世帯当たり5.8㍑)と6か月連続で前年割れ。バターは2か月連続で前年超え、チーズは6か月連続で前年超えとなった。
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)

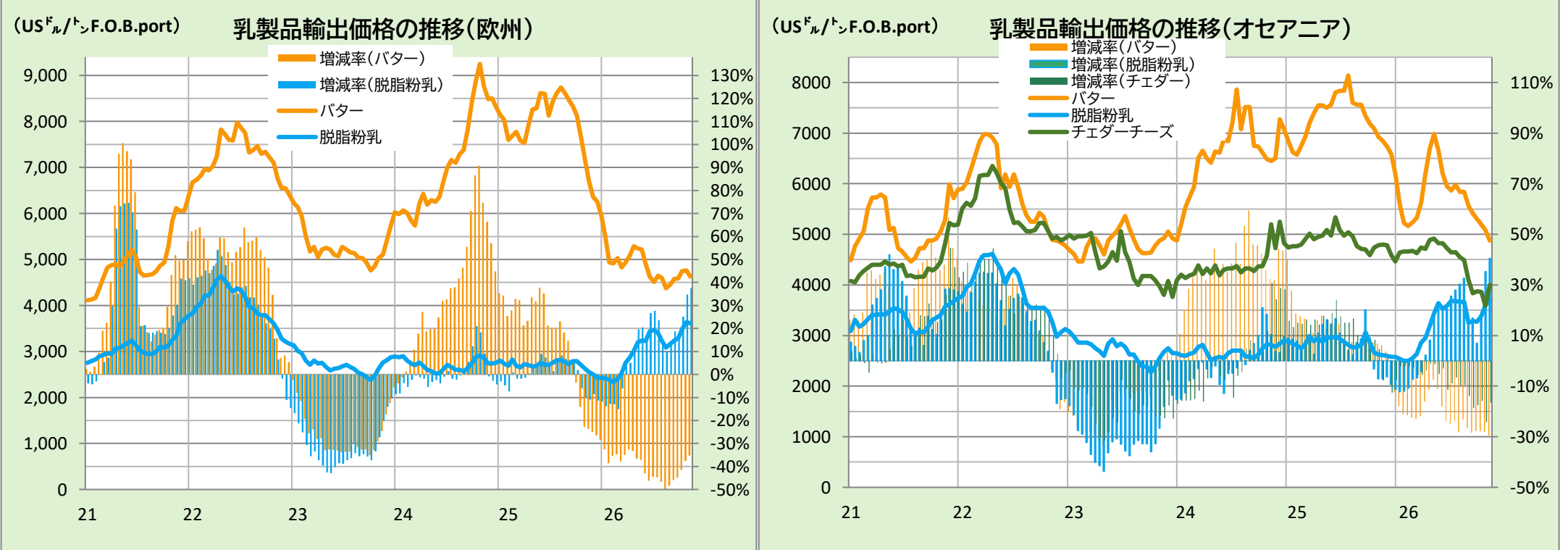


【参考:その他品目支出の動向】





【乳製品輸出価格の動向】
(1)直近の乳製品国際相場について(9月下旬)
・欧州:脱脂粉乳3,613ドル/トン、バター4,625ドル/トン中心。
・オセアニア:脱脂粉乳3,688ドル/トン、バター4,875ドル/トン、チェダーチーズは4,000ドル/トン中心
※出典:米国農務省(USDA)



※「2026年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」